

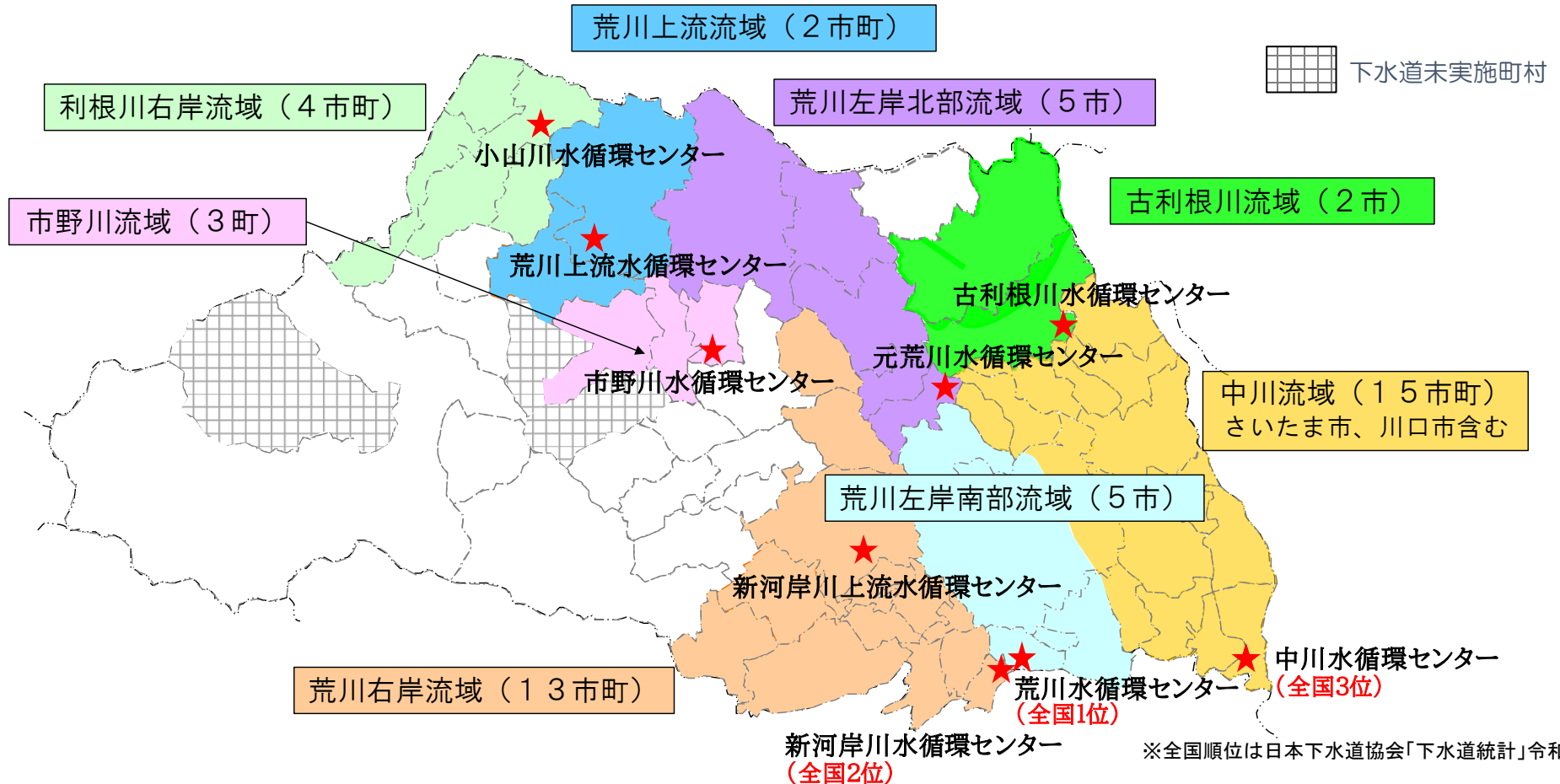
# 埼玉県八潮市道路陥没事故の概要と今後の課題について

- |   |  |         |
|---|--|---------|
| 1 | 埼玉県の下水道について  | P 2     |
| 2 | 事故概要について   | P 3～P 5 |
| 3 | 事故対応経過について   | P 6～P13 |
|   | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 陥没穴からの救出</li><li>・ 二次災害防止、説明会</li><li>・ 土木的措置による救出</li></ul> |         |
| 4 | 復旧工事について   | P14～P20 |
|   | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 復旧工事内容、スケジュール、交通規制、環境対策</li></ul>                            |         |
| 5 | 抜本的な対策について   | P21     |
|   | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 本格復旧の方針（複線化）</li></ul>                                       |         |



# 埼玉県の下水道の概要

- 下水道事業実施市町村数            60市町（56団体）    ※全市町村数：63市町村
  - 流域下水道                            47市町                    ※8流域（9処理場）
  - 単独公共下水道                    18市町（14団体）    ※流域関連公共下水道と単独公共下水道を重複して持つ市町あり
- 流域下水道処理人口            約565万人（県人口の約76.6%、県下水道処理人口の91.6%）(R5年度末)
- 事業着手年度                    昭和41年度【1966年】（58年経過）    ※荒川左岸南部流域下水道

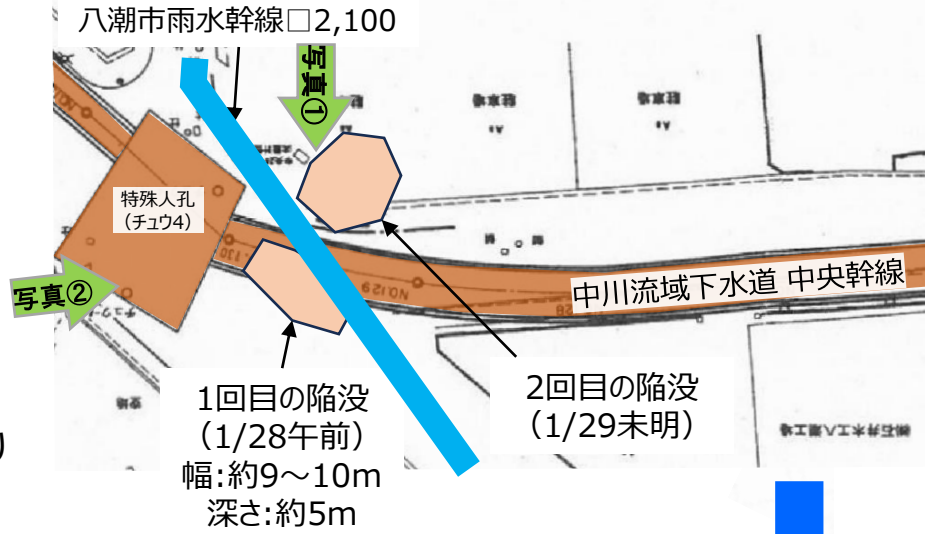


## ■陥没事故の概要

- 発生日時: 令和7年1月28日(火)午前9時49分頃
- 発生場所: 八潮市中央一丁目地内  
県道松戸草加線(中央一丁目交差点内)

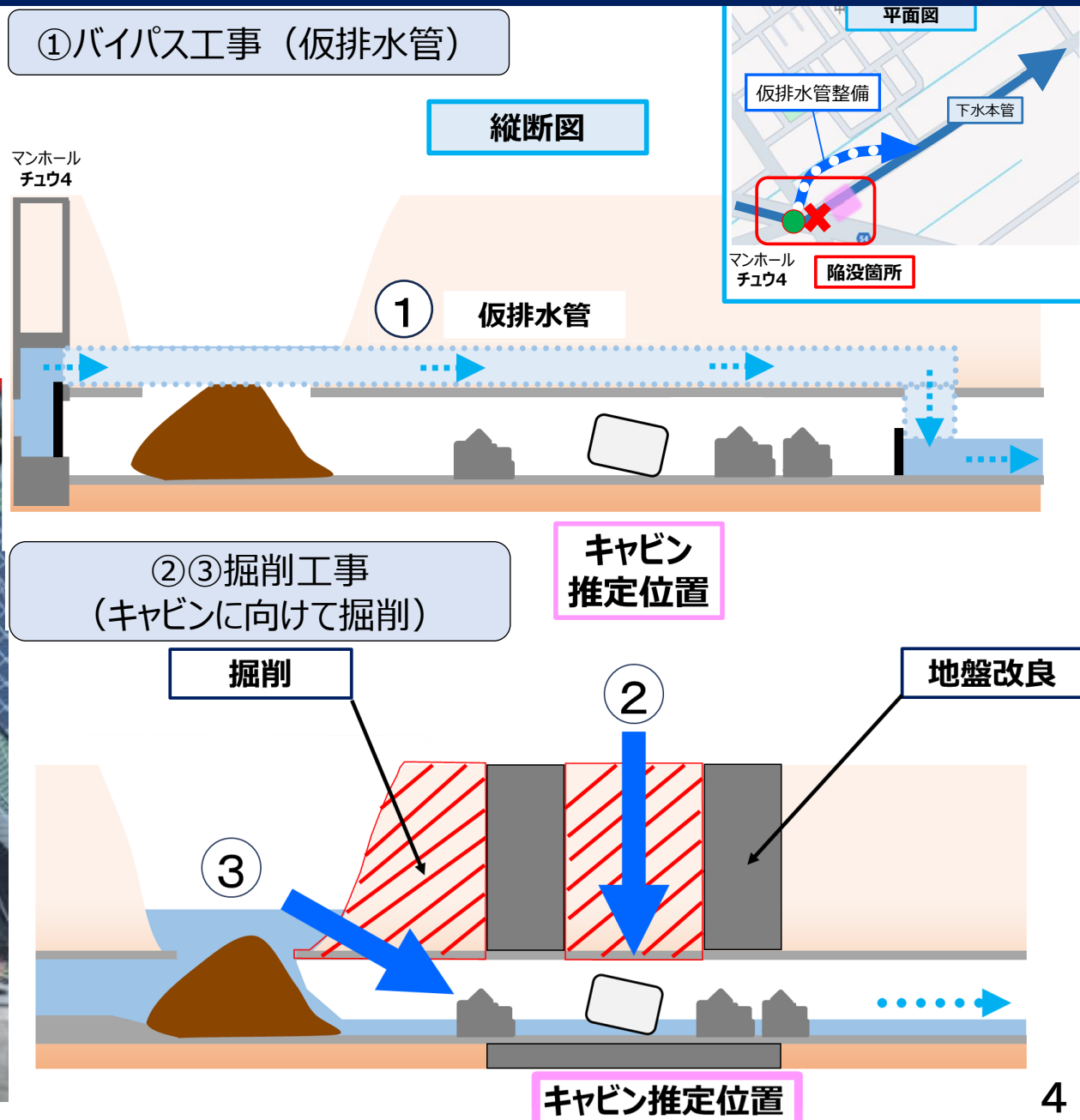
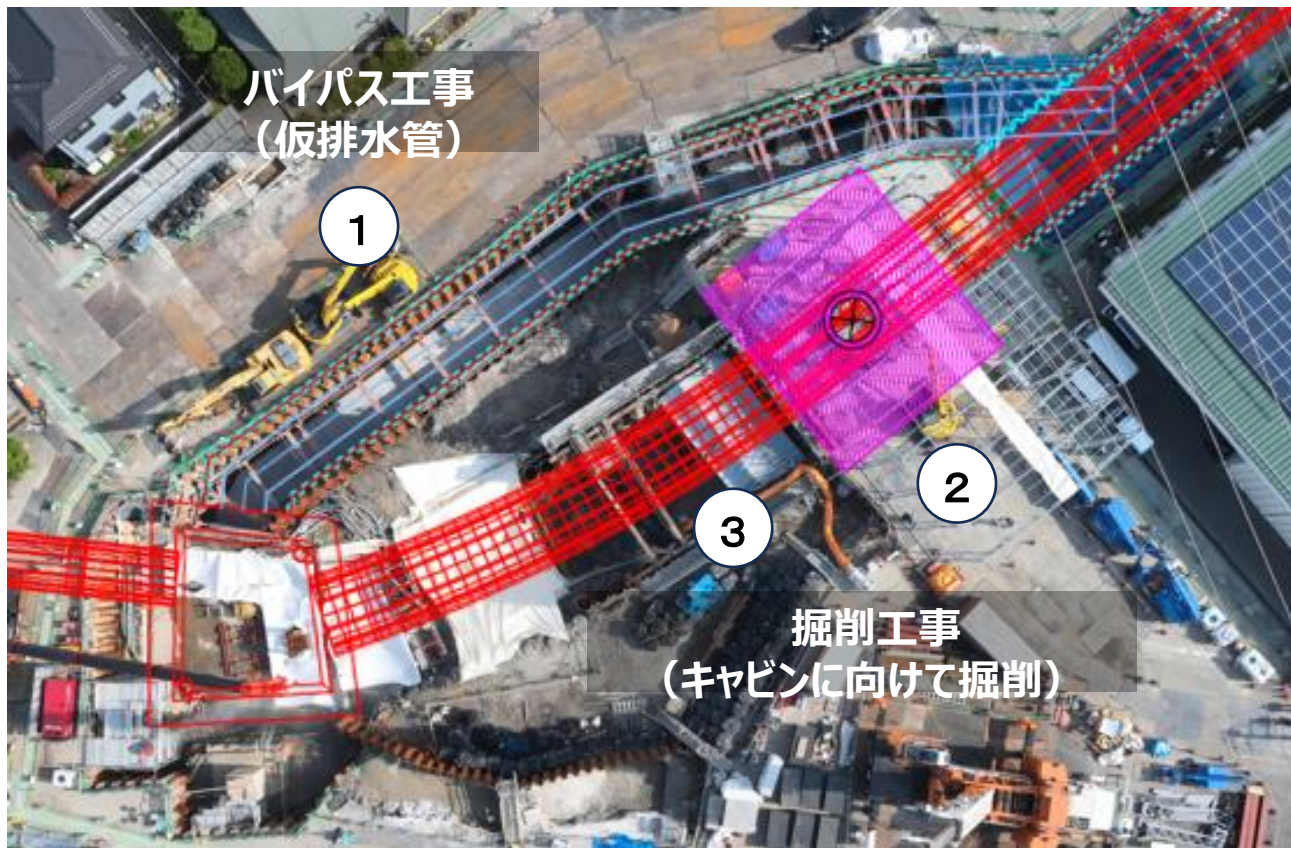
## ■事故への対応の主な経緯

- 1/28 9:49頃 陥没事故発生  
消防による救助活動開始  
埼玉県建設業協会、日本建設業連合会が現地入り
- 1/29 未明 クレーンにより事故車両の一部を引き上げ  
5:00 危機対策本部の設置  
自衛隊、国土交通省のリエゾン受入れ
- 1/30 陥没穴の中で重機による作業を行えるようスロープ造成に着手
- 2/11 県として、キャビンの救出に向けた土木的措置を進めることを決定



## ■キャビン救出に向けた土木的措置の概要

- 陥没箇所を流れる下水を迂回させる**仮排水管によるバイパス工事**を進めるとともに、**キャビンにアクセスするための掘削工事**を昼夜分かたず最優先で実施
- この方法が**最も早期にキャビンにアクセス**するとともに、**損傷した下水管の応急復旧を兼ねる**方法
- 運転手の方を**5/2に救出**、**キャビン**を**5/16に引き上げ**



## ■中川流域下水道の概要(令和5年度末時点)

- 処理区域面積 約1.7万ha (約1.4万ha)
- 処理人口 約143万人 (約123万人)
- 汚水量(日最大) 489,784m<sup>3</sup>/日
- 管渠施設延長 121km (100km)
- 普及率 83.3%
- 関係市町 11市4町 (9市3町)

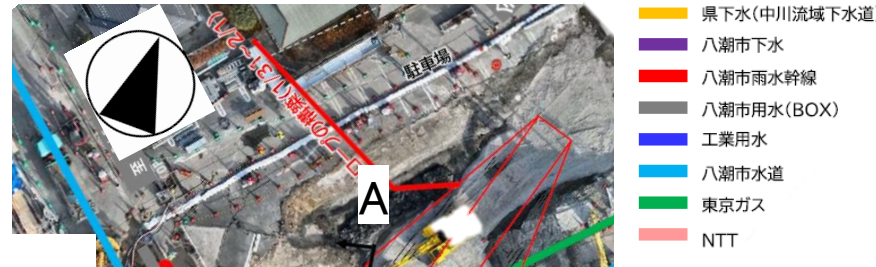
※青字は陥没事故の発生した中央幹線に関する部分

## ■破損した下水道管の概要

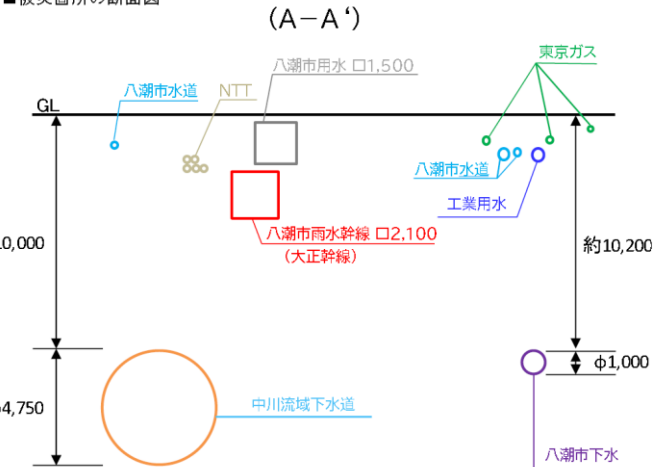
- 内径:4.75m
- 管頂深さ:約10m
- シールド工法
- 昭和58年供用開始(42年経過)
- 令和3年度の調査の判定結果は、「管の腐食:ランクB(中度)」

## ■陥没箇所の地盤状況等

- N値の低い砂・シルト
- 地下水位が高い
- 地中埋設物が数多く輻輳



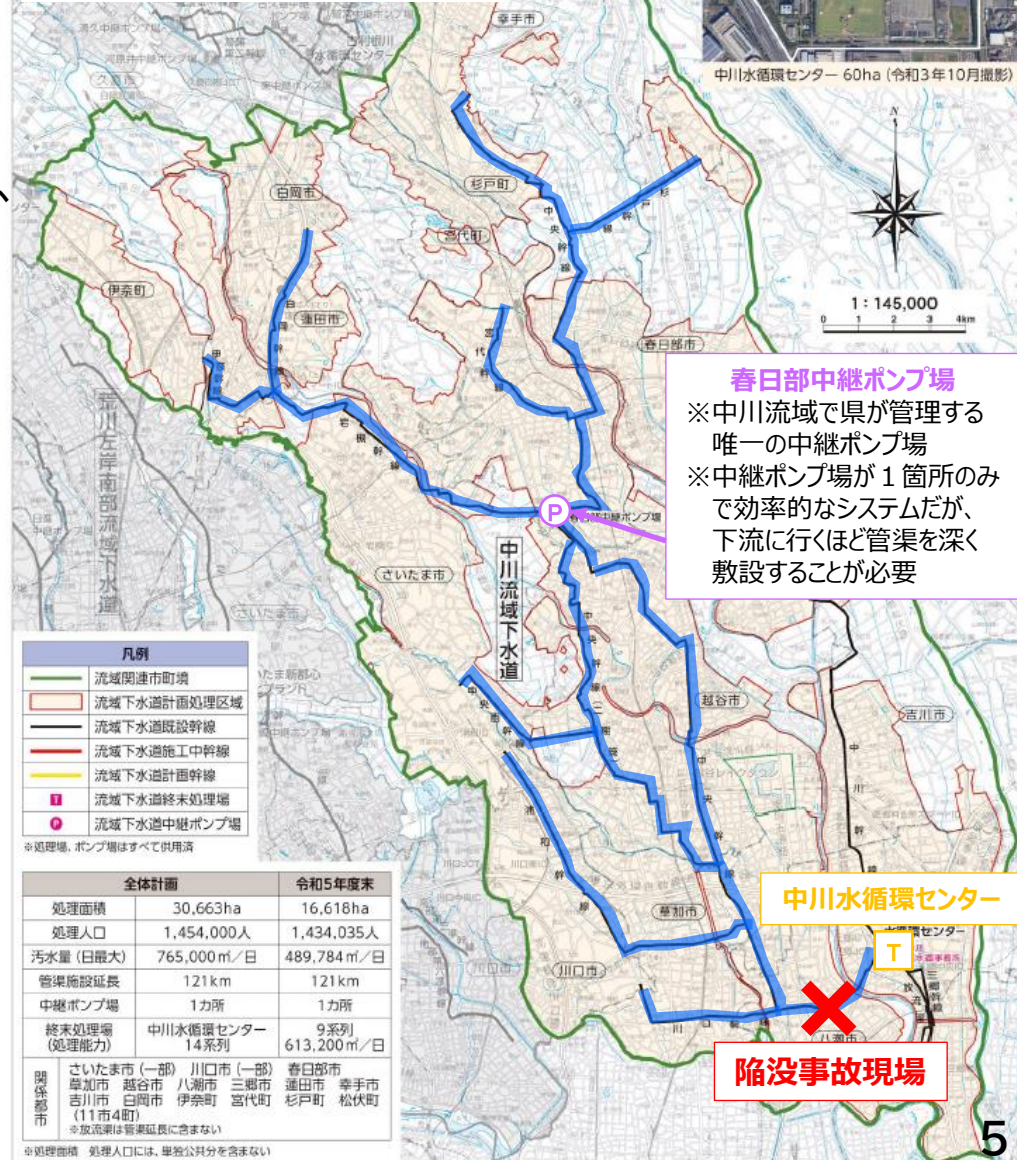
■被災箇所断面図



※埋設深度や埋設位置については、図面を基に想定される箇所

## 中川流域下水道

青線部は中央幹線及び中央幹線に接続される幹線を示す



**春日部中継ポンプ場**  
 ※中川流域で県が管理する唯一の中継ポンプ場  
 ※中継ポンプ場が1箇所のみで効率的なシステムだが、下流に行くほど管渠を深く敷設することが必要

**中川水循環センター**  
 ※陥没事故現場



1月28日（火）から

バキューム車での移送



1月29日（水）から

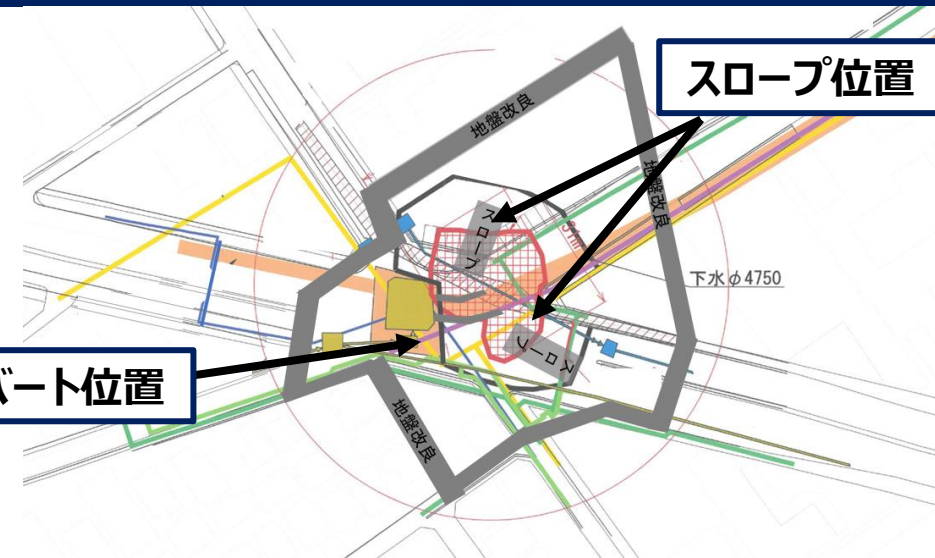
春日部中継ポンプ場から  
河川への緊急放流



1月31日（金）から スロープ整備



ボックスカルバート位置

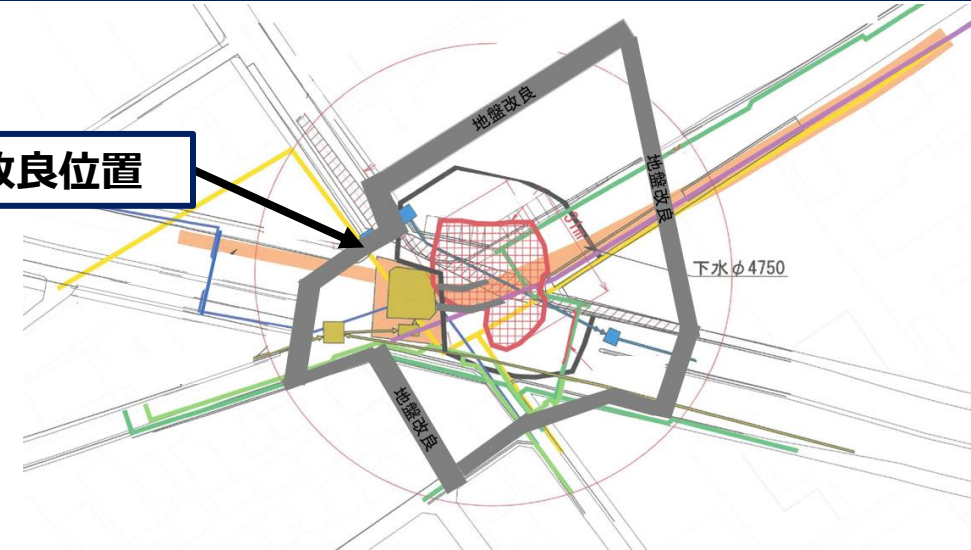


2月7日（金）農業用水ボックスカルバート撤去





地盤改良位置



2月19日（水） 避難区域を解除

2月5日（水）～  
電話相談窓口 下水道管理課内

2月22日（土）  
説明会 八潮メセナホール



5月17日（土）、18日（日）  
工事説明会（計4回） 八潮メセナ会議室

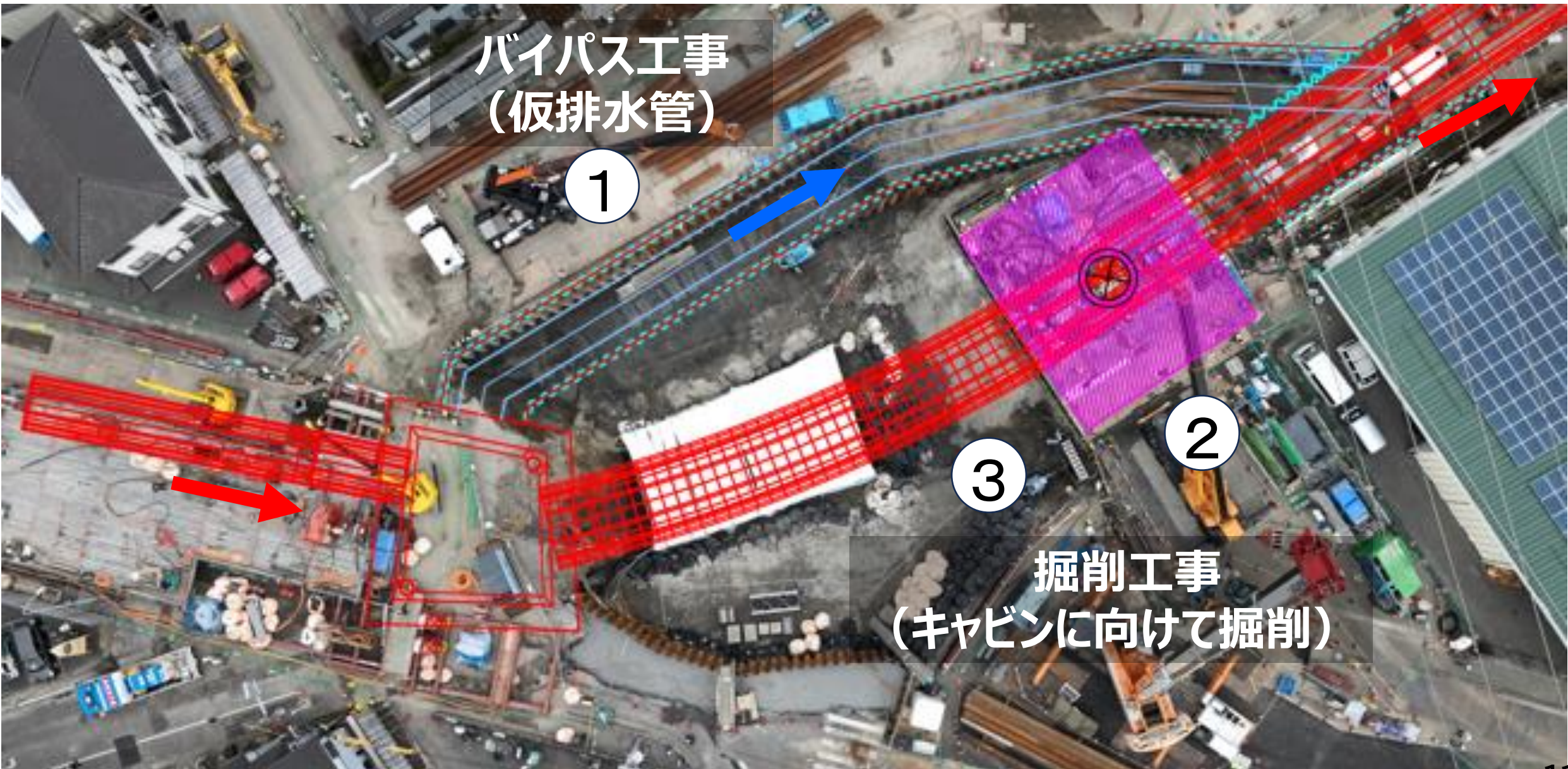
6月2日（月）～19日（木）  
個別相談会 八潮市商工会館ほか

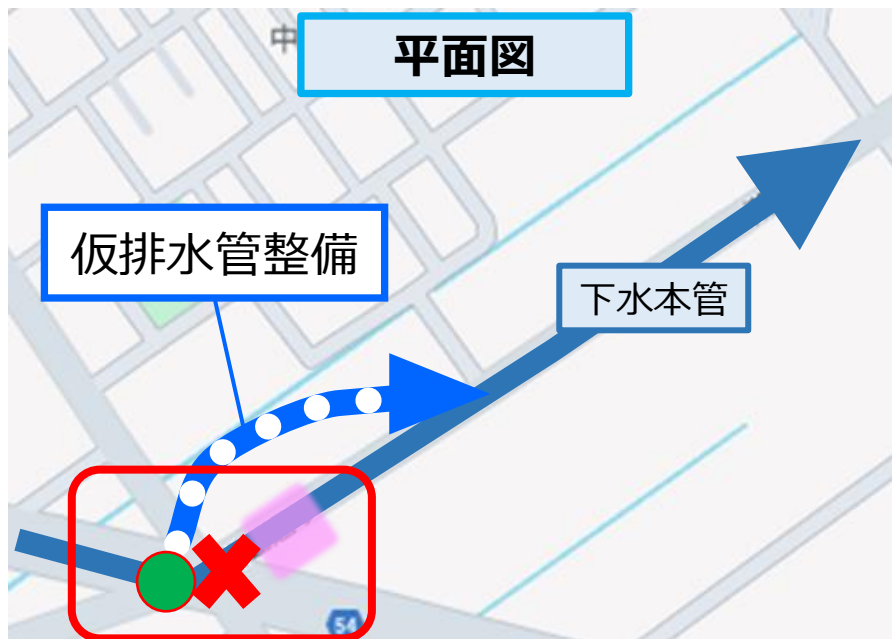
8月22（金）、23日（土）、24日（日）  
補償説明会（計8回） やしお生涯楽習館ほか



11月23日（日）  
硫化水素に関する講演会 やしお生涯楽習館

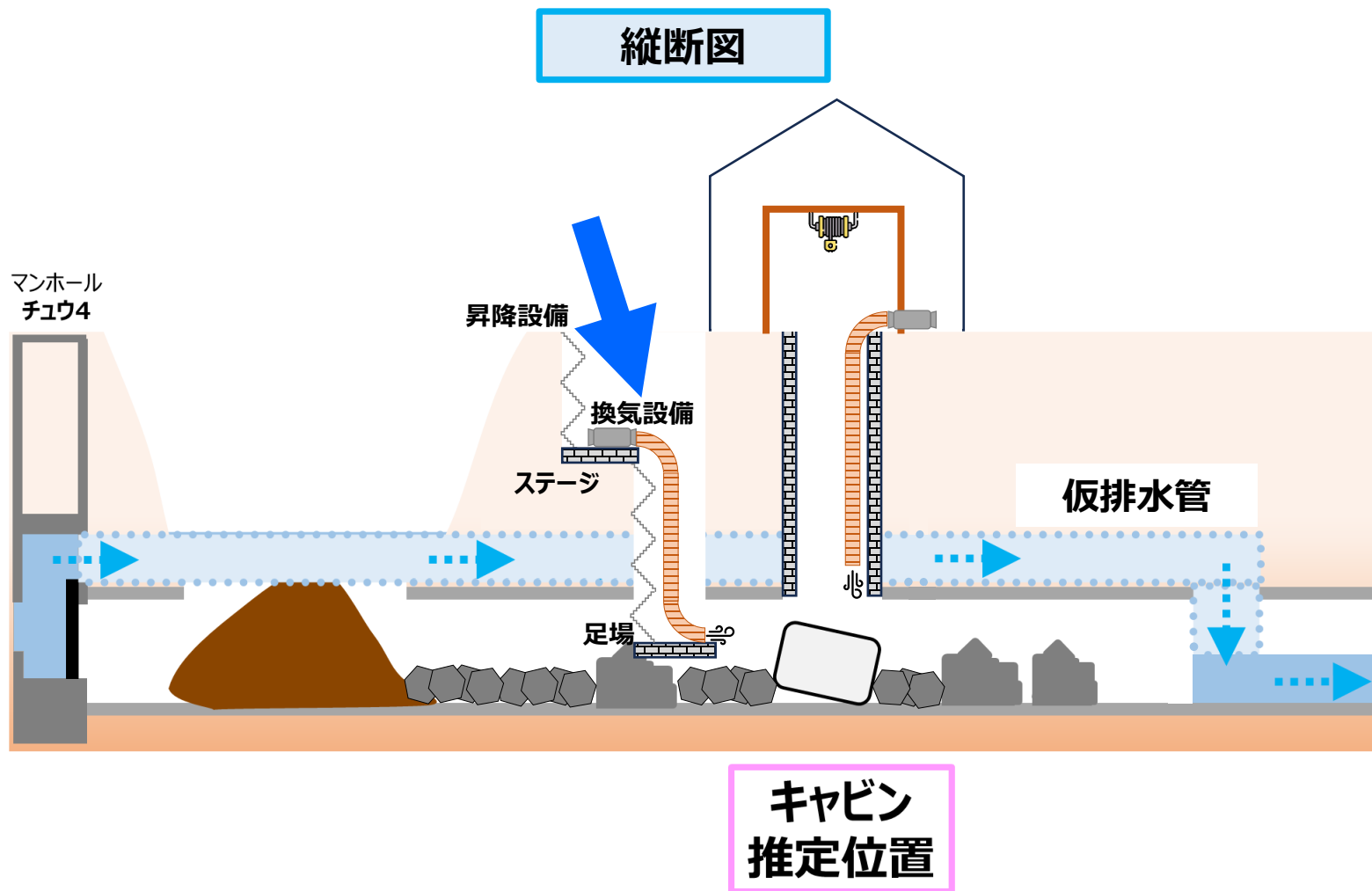
上記ほか、専用ホームページの開設、かわら版の発行、健康相談(八潮市)などを実施。

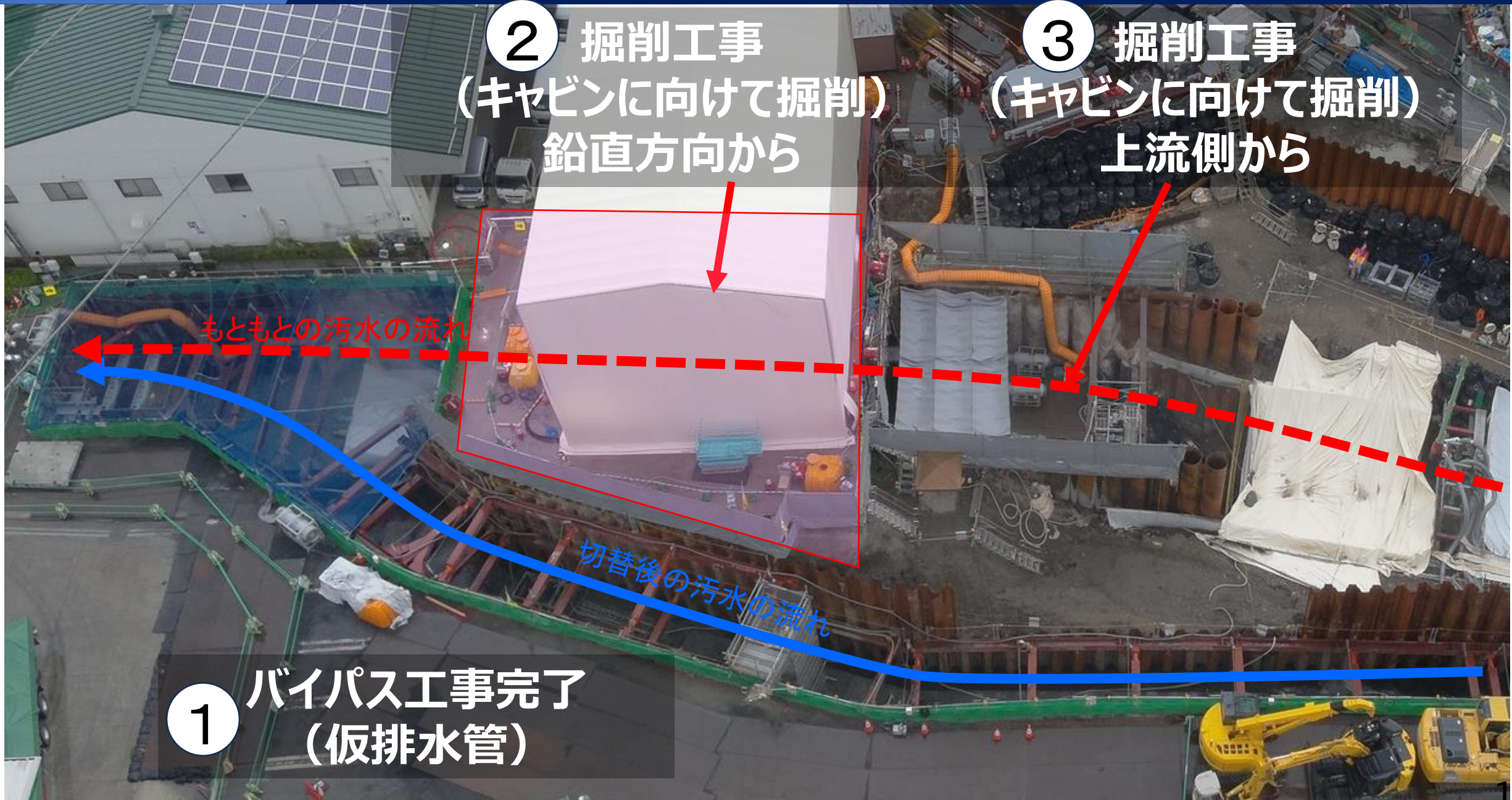


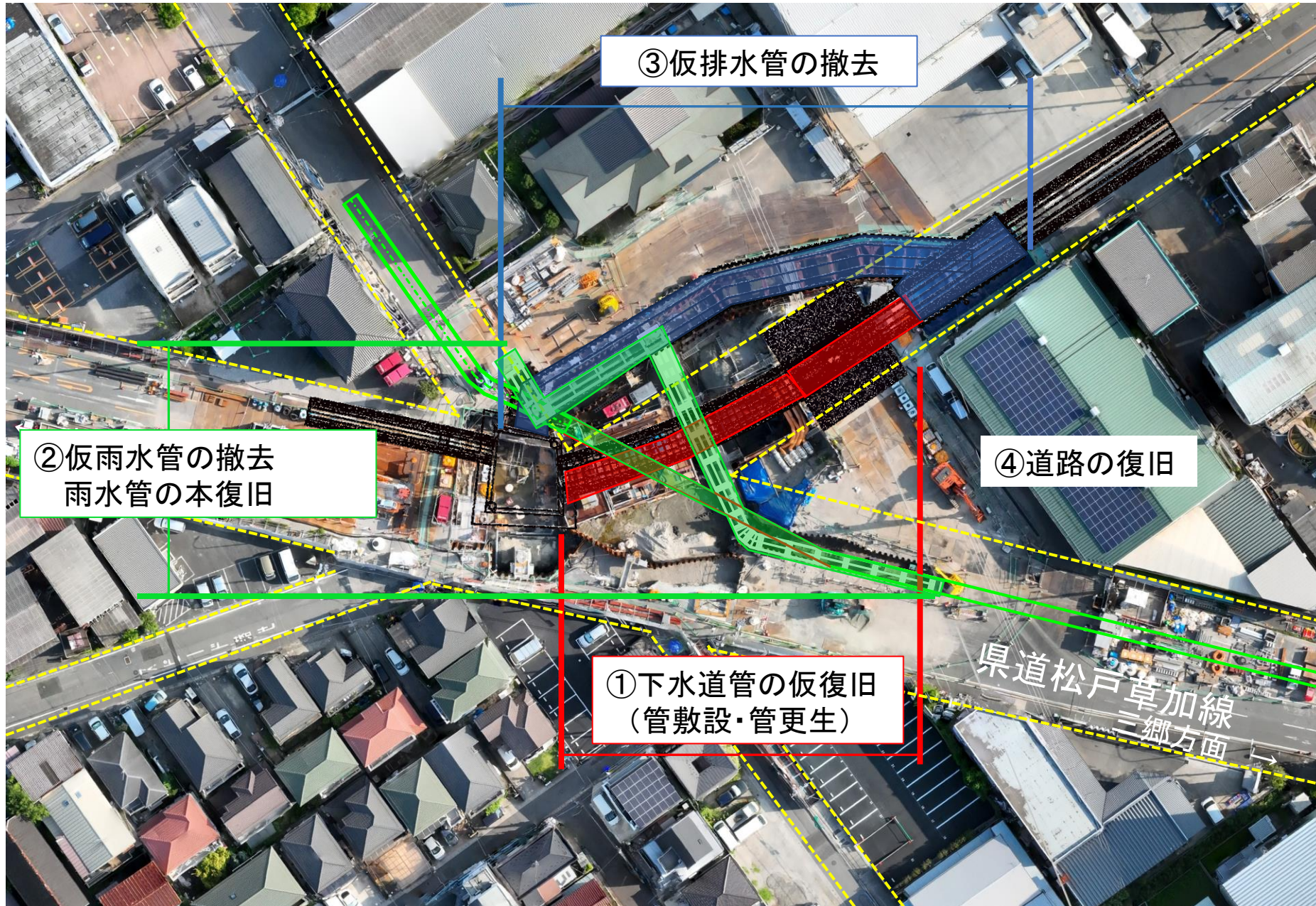


マンホール  
チュウ4

陥没箇所

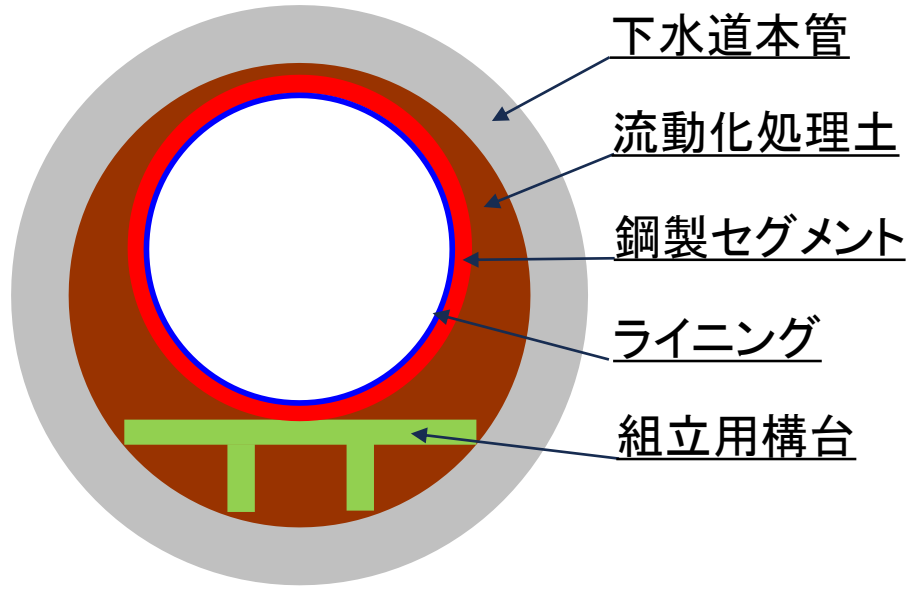




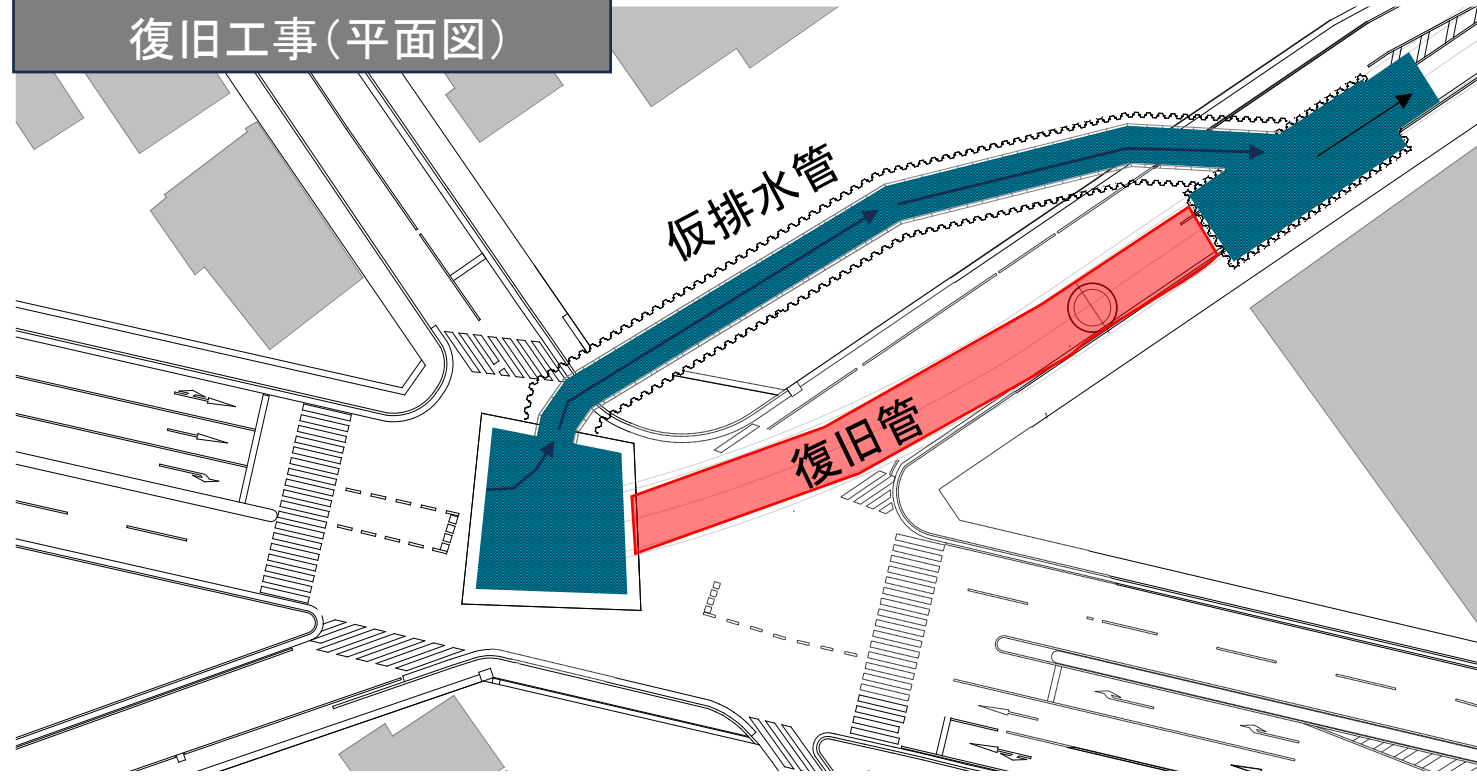


# 復旧工事（破損管の復旧の概要）

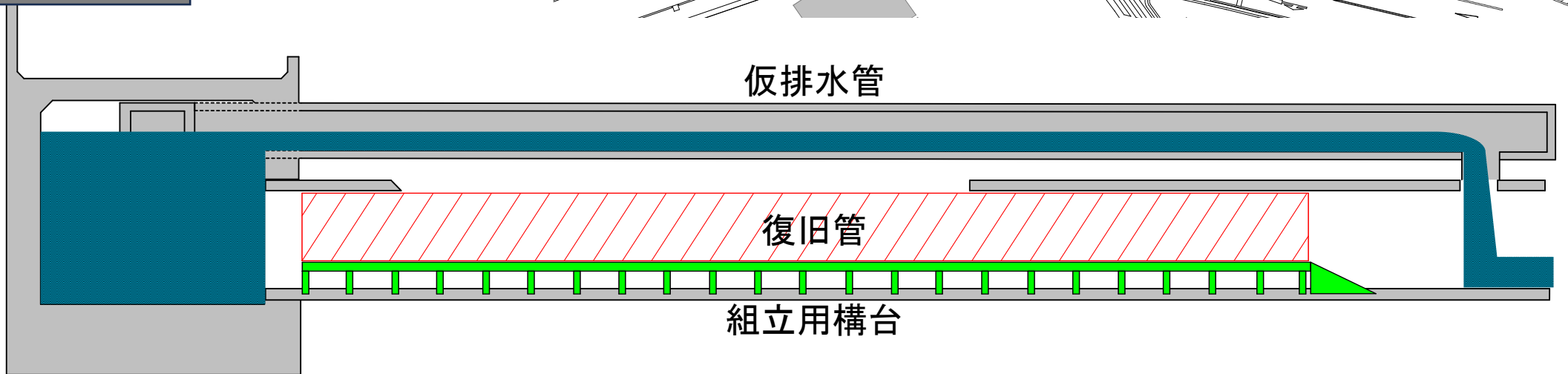
復旧工事（断面図）



復旧工事（平面図）



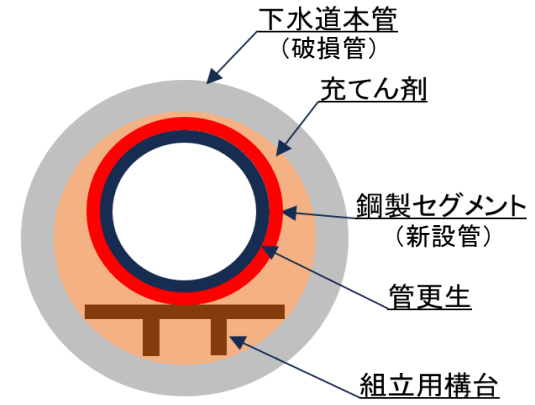
復旧工事（縦断図）



## 鋼製セグメント（新設管）の設置



## 断面（イメージ）

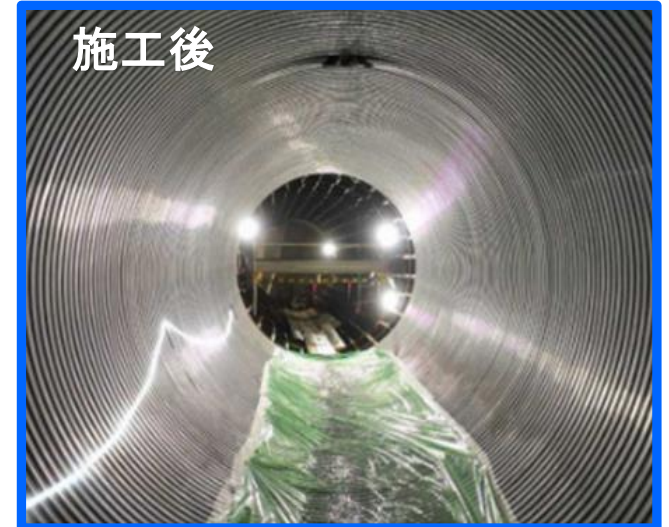


## 管更生

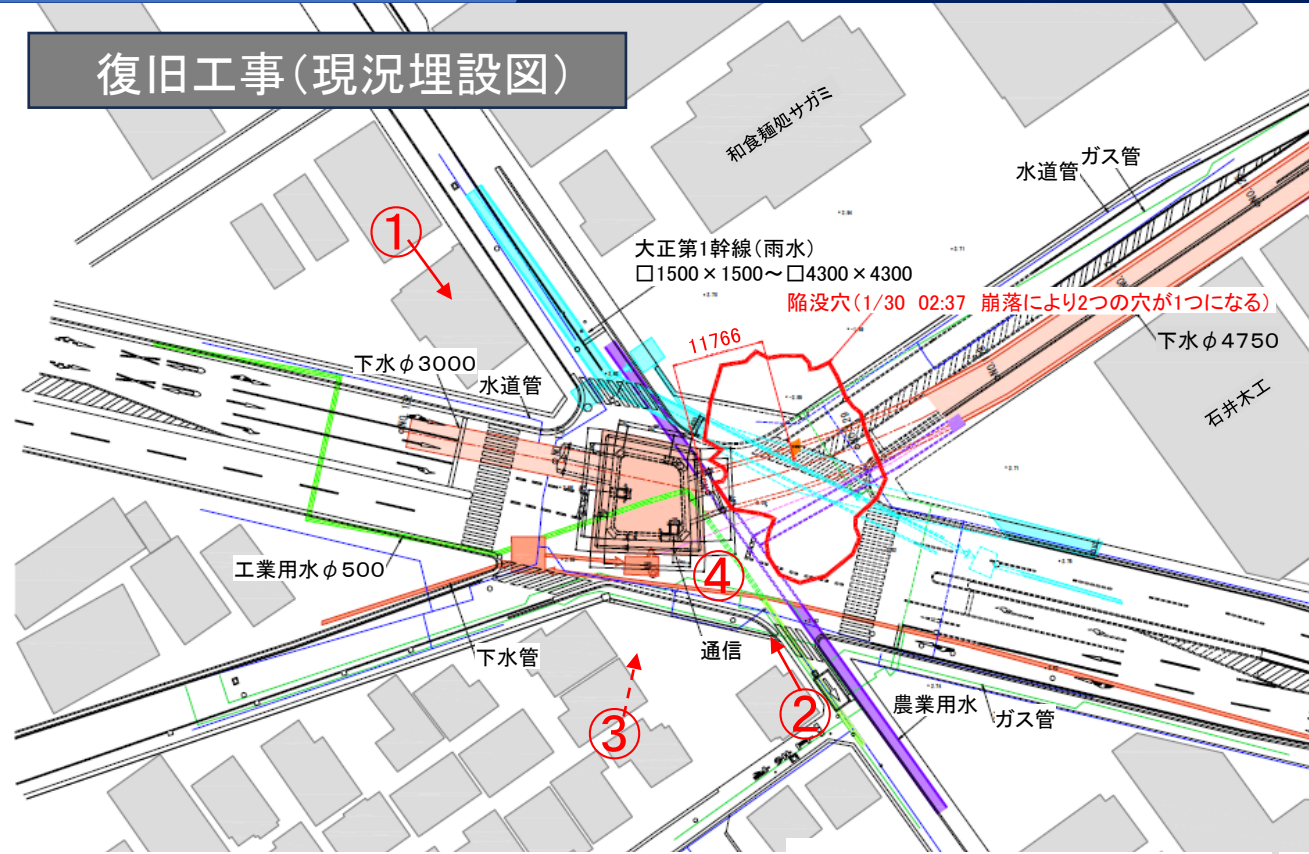
施工前



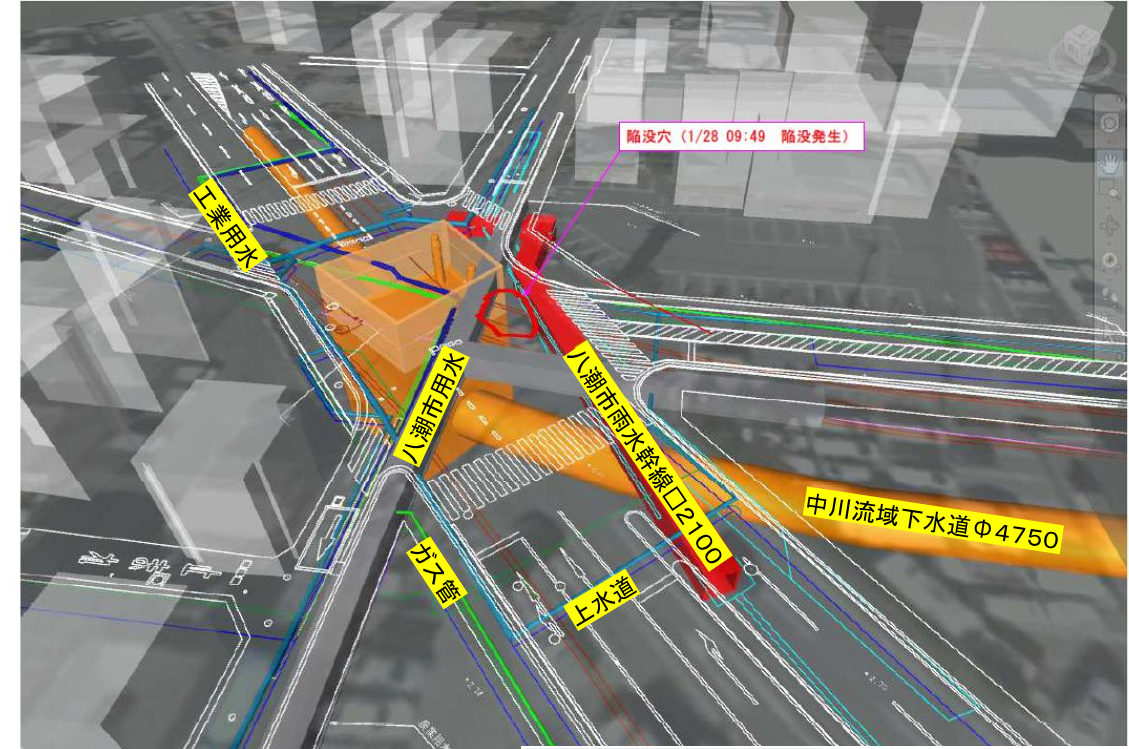
施工後



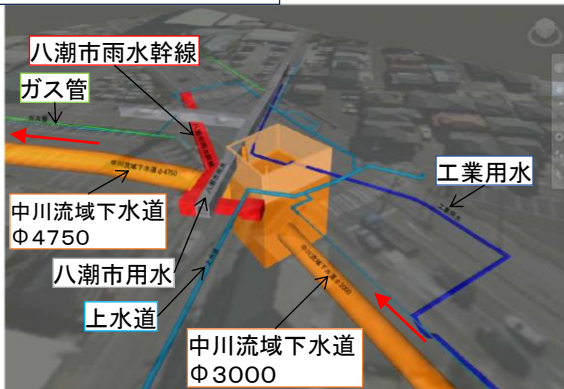
### 復旧工事（現況埋設図）



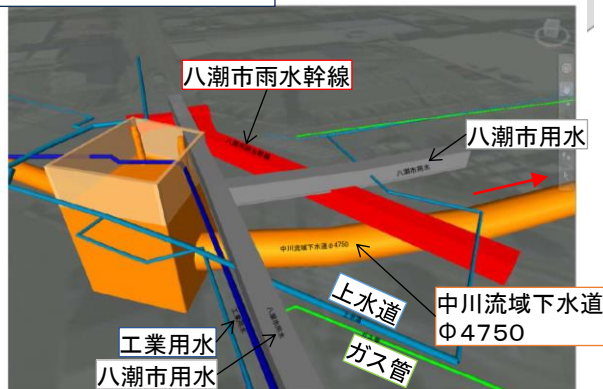
### インフラ埋設図（全体）



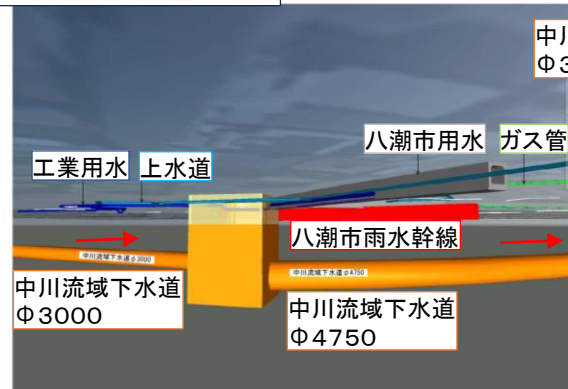
### インフラ埋設図①



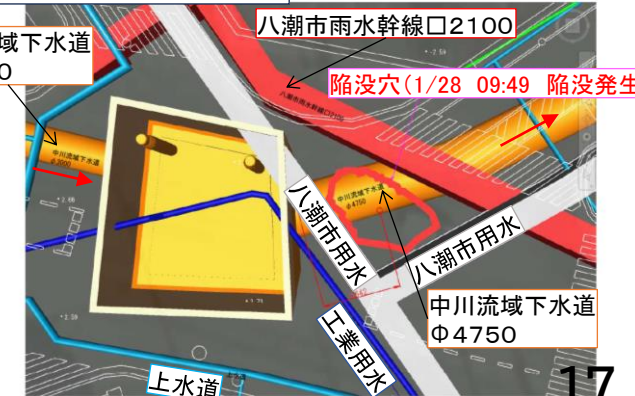
### インフラ埋設図②

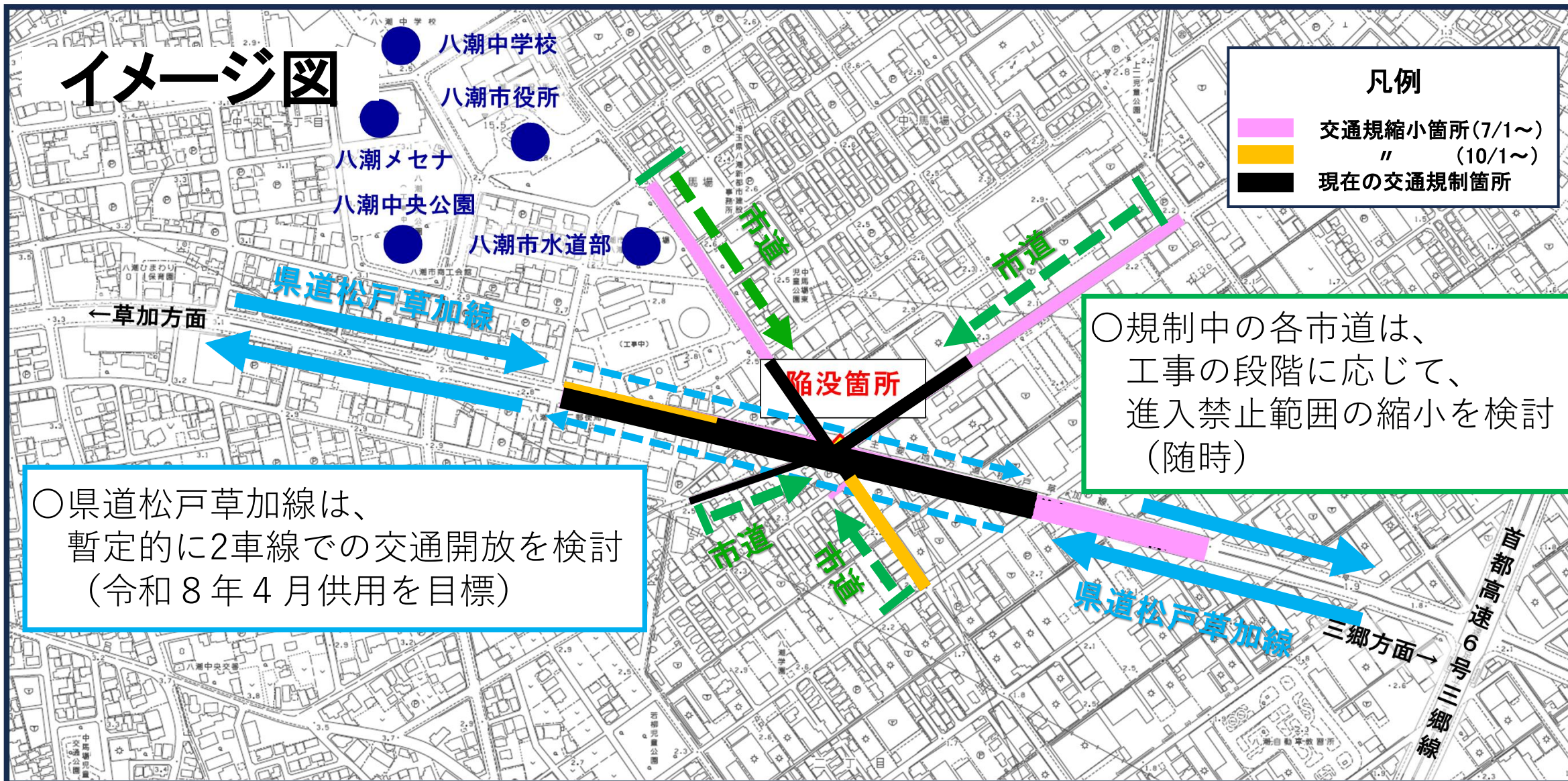


### インフラ埋設図③



### インフラ埋設図④





## ○対策内容

- ・防音パネル設置(騒音)
- ・機器の使用箇所の精査(振動・騒音)
- ・施工時間の工夫(振動・騒音)

※救出後の工事は、  
原則以下のとおりとしています。

- ・昼間施工
- ・日曜日は休工



写真. 防音パネル設置状況

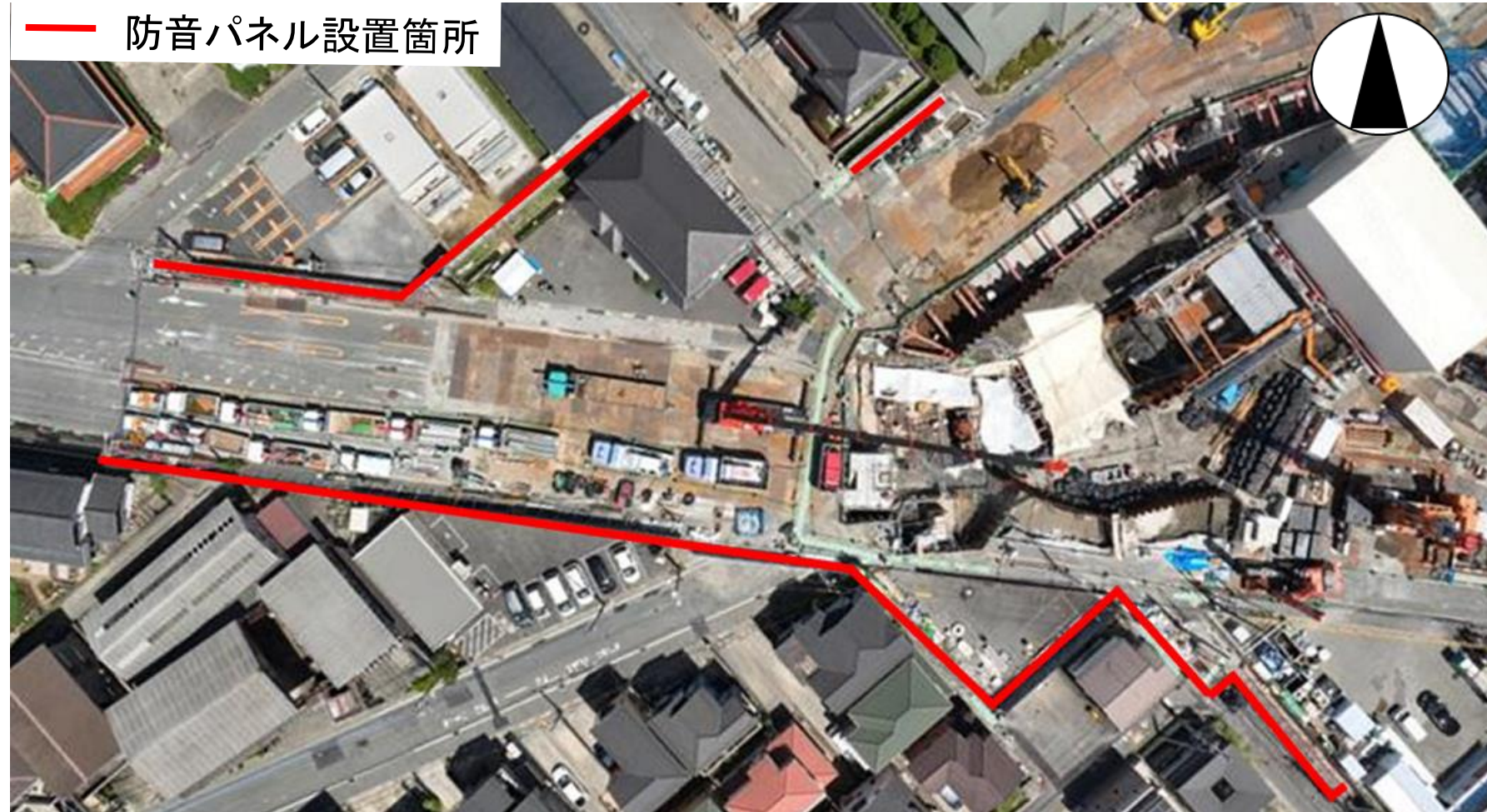


図. 防音パネル設置箇所



今回の事故が発生した中川流域下水道の中央幹線の下流部は、

- ・口径が大きい
- ・水量が多い
- ・埋設深が深い
- ・代替性がない
- ・劣化が進行している箇所が点在

## 今後の本格復旧の方針

今後の本格的な復旧にあたっては、

**別線の整備(中央幹線下流部の複線化)**

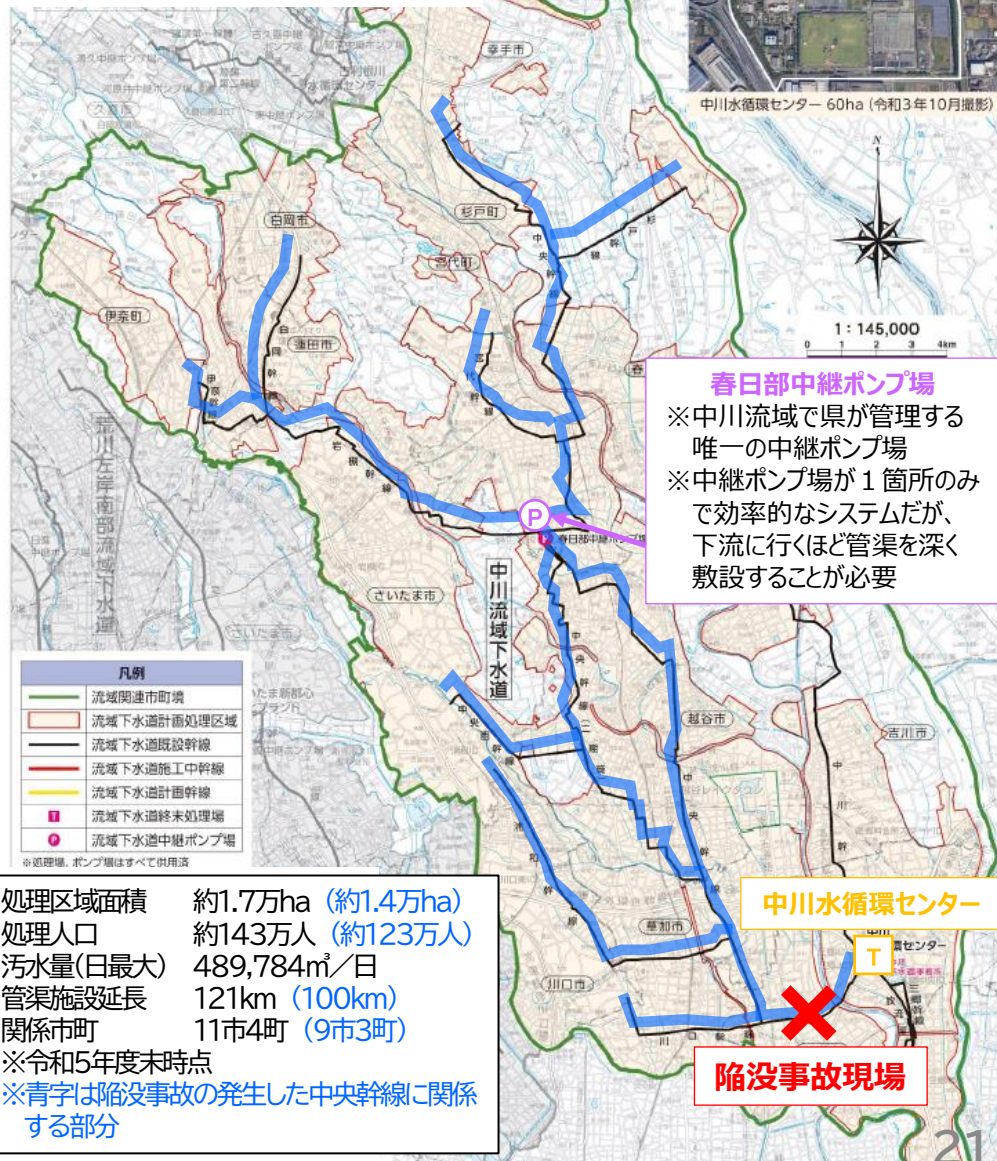
を行っていく方針



- 前回の調査でAランク判定の箇所があった区間
- 前回の調査でBランク判定の箇所があった区間

## 中川流域下水道

青線部は中央幹線及び中央幹線に接続される幹線を示す



**春日部中継ポンプ場**  
 ※中川流域で県が管理する唯一の中継ポンプ場  
 ※中継ポンプ場が1箇所のみで効率的なシステムだが、下流に行くほど管渠を深く敷設することが必要

**中川水循環センター**  
 陥没事故現場

- 概要資料の取り扱いについての注意とお願い

ページ内で使用している写真、図、表ほかすべてのコンテンツの無断使用はご遠慮願います。

使用する場合は各素材(写真ほか)、ページの下部に「埼玉県下水道局HPより引用」と記載してください。